令和５年９月３日

令和５年度 都川水の里公園・稲作体験講座【第４回】

第５回の活動は、稲刈りとおだ架け、13 組 40 人の受講者が参加しました。残暑厳しい中での作業でしたが、皆さんの結い（共同作業）のおかげで、予定より早く怪我や熱中症にもなく、無事に稲刈りを終えることができました。

初めに、龍崎先生から稲の生育状況（田植えから現在まで）と稲刈りの方法について説明がありました。その後、田んぼに移動して３班に分かれ、稲刈り作業の開始です。

受講者は稲刈り体験はじめての方がほとんど。稲刈り用の鎌で地面から 10ｃｍほど上の株元から刈り取り、2～3 束ずつ重ねて近くに置いていきます。刈り取った稲は、すがい（細い稲縄）や稲わら、麻ひもで束ねます。稲を刈るより束ねる方が難しかったようです。特に稲束が緩まないようにきつく束ねるのに苦労していました。

束ねた稲を運び、「おだ」まで運び竹竿に架けて干します（「架け干し」という）。「おだ」は、竹の棒で 2、3 脚の支柱（おだあし）を建て、これに竹の竿を架けて作ります。支柱と竿をしっかり結んで固定しないと、稲わらの重みで竹竿が下がってしまいます。

おだ架けした稲は、2 週間天日で乾燥して水分を減らし、9 月 17 日に脱穀する予定です。

稲の生育状況の説明

稲刈りのやり方を説明

稲の刈り方を説明

刈った稲の束ね方を説明

 バインダーによる稲刈りの見学	 バインダーによる稲刈りの実演
 稲刈り作業	 稲刈り作業
 稲刈り作業	 刈り取った稲を束ねる
 刈り取った稲を束ねる	 束ねた稲を運ぶ
 稲刈・おだ架けの状況	 同左

稲刈・おだ架けの状況

同左

稲刈・おだ架けの状況

同左

稲刈り後の田で集合写真